

保健体育科 第3学年

1, 教科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2, 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	選択した運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解するとともに、選択した領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。

3, 評価の観点と評価方法

観点 評価方法	1 学期				2 学期				3 学期			
	実技テスト	授業観察	ワークシート	期末考査	実技テスト	授業観察	ワークシート	期末考査	実技テスト	授業観察	ワークシート	期末考査
知識・技能	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎
思考・判断・表現	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○

○・・・取り上げる評価方法

◎・・・取り上げる評価方法のうち特に重視するもの

保健体育（体育分野） 年間評価計画【第3学年】

（男子）

月	単元	指導内容	評価の方法・観点
4	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動、体力を高める運動。 ・運動会での体育種目の技能を身につける。 スポーツテスト実施。 ・色々な泳ぎが出来るようになるとともに、得意な泳法を伸ばす。長い距離を効率的に泳げる能力を高める。 ・「文化としてのスポーツ」 	全観点とも、次の評価資料を用いて評価を行う。 ※全期間に渡って ・授業観察 ・実技テスト ※期末テスト ※期末テスト後に ・ノート・ワークシート 点検
5	陸上競技		
6	(スポーツテスト)		
	水泳		
7	体育理論		
9	水泳		
	陸上競技		
10	球技(ゴール型)	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走、ハードル走、跳躍種目について、各種目特有の技能を身につける。 ・高めた技術を生かし、作戦に応じたゲームを展開する。 ・マット運動、とび箱運動におけるの技能をより高める。自己に適した技で演技を構成する。 ・技をより上達させ、簡単な試合を行う。 ・攻撃方法や守備隊形を工夫し、作戦に応じたゲームを展開する。 ・「健康と環境、健康な生活と病気の予防」 	
11	器械運動		
12	武道		
	球技(ネット型)		
	保健	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃方法や守備隊形を工夫し、作戦に応じたゲームを展開する。 ・「健康な生活と病気の予防」 	
1	球技(ゴール型①)		
2	球技(ゴール型②)		
3	保健		

（女子）

月	単元	指導内容	評価の方法・観点
4	体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動、体力を高める運動。 ・運動会での体育種目の技能を身につける。 スポーツテスト実施。 ・色々な泳ぎが出来るようになるとともに、得意な泳法を伸ばす。長い距離を効率的に泳げる能力を高める。 ・「文化としてのスポーツ」 	全観点とも、次の評価資料を用いて評価を行う。 ※全期間に渡って ・授業観察 ・実技テスト ※期末テスト ※期末テスト後に ・ノート・ワークシート 点検
5	陸上競技		
6	(スポーツテスト)		
	水泳		
7	体育理論		
9	水泳		
	陸上競技		
10	球技(ゴール型)	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走、ハードル走、跳躍種目について、各種目特有の技能を身につける。 ・高めた技術を生かし、作戦に応じたゲームを展開する。 ・マット運動、とび箱運動におけるの技能をより高める。自己に適した技で演技を構成する。 ・技をより上達させ、簡単な試合を行う。 ・攻撃方法や守備隊形を工夫し、作戦に応じたゲームを展開する。 ・「健康と環境、健康な生活と病気の予防」 	
11	器械運動		
12	武道		
	球技(ネット型)		
	保健	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃方法や守備隊形を工夫し、作戦に応じたゲームを展開する。 ・「健康な生活と病気の予防」 	
1	球技(ゴール型①)		
2	球技(ゴール型②)		
3	保健		